

羽はたけ! こどもたち

大堀 寛人

⑫

寒い時期、公園に着くとすぐに始まるのが、鬼ごっこ。中でも「ケイドロ」(警察とどろぼう)が一番人気です。リレーやマラソンのようにゴールがない分きつ

いのですが、鬼が迫ってタッチされそうになると、走るのが苦手なこどもも、どこにそんな能力が隠れているのかと思うほど猛スピードで逃げ回ります。

「もう走れないよ」と座り込んでいる子も、鬼が走り寄ってくると、また立ち

乗り越え、走りだすこども

の姿がそこにあります。思いのままに追いかけたり、逃げたりする楽しさが、限界を乗り越える力となるのです。

「かくれんぼ」にも、奥の深さがあります。年少クラス(三、四歳児)では、公園で「もーいいかい?」「まーただよ」と頻繁にか

くれんぼが始まります。こどもたちは植え込みなどの陰に隠れるのですが、我慢できなくて「こーこだよ」と自分の居場所を鬼に明かしてしまったり…。

年中、年長クラス(四-

感覚…。それでもじつと「隠れ続ける」ことを通じて「忍耐」を学びます。二つの遊びはとても単純ですが、こどもたちをはぐくむ大切な要素がたくさん含まれているのです。

最近、見た目は美しくても、「ボール遊びをしないで」「芝生に入らないで」などの規制を掲げる公園が増えたように思います。おまけに、不審者を遠ざけるために物陰がない、見通しの良い遊び場ばかり。昔はどこでもできたはずなのに、今は場所探しに一苦勞です。こどもたちの忍耐や限界を超える力が育つことを願い、今日も

限界超える力・忍耐養う

が育つことを願い、今日も

た。「ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ」では、こどもたちの大好きな遊びのメニューとして健

上がって逃げる…。限界だと思っていた自分を何度も

六歳)になると、かくれんぼがゲームとして成立するようになります。隠れている時に味わう、みつげられたくないような、みつげられたいようなドキドキする

私たちは鬼ごっこやかくれんぼができる環境を求めて、こどもたちを外へ連れ出しています。

(ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ 広島市西区 園長)



「待て、待てー」。鬼ごっこに夢中になって走り回るこどもたち。自らの限界を乗り越える力を養う (園提供)